



中嶋市政 2期目スタート

10月26日に執行された甲賀市長選挙で再選を果たした中嶋武嗣市長が10月31日に初登庁し、市役所玄関で職員約200名に迎えられました。

登庁後、早速課長級以上の職員を前に訓示を行い、「元気のある甲賀市を築いていくために、自信と気構えを持って取り組んでいただきたい」と呼び掛けました。

「稼ぐ・削る・守る」をキーワードに

甲賀市長 中嶋武嗣

この度、多くの皆さんのご支持を賜り、引き続き二期目の市政運営に当たらせていただくこととなりました。市民皆さんの誰もが「甲賀市が一番やあ」と実感していただきながら、将来に渡って発展し続けていけるまちづくりのため、これまでの経験を活かして全力を注いでまいります。

五つの町の対等合併によりスタートしてからの四年間は、決して平坦な道ばかりではありませんでしたが、引き継がれた事業を積極的に進める一方で、子どもの医療費無料化の拡大など県下に先駆けての甲賀市ならではの福祉施策にも取り組み、また、市民皆さんも様々な自主的活動を通じてご協力をいただき、甲賀市としての一体感がまとまってきたことを肌で感じています。

これからの四年間は、さらに安定期へ向けた正念場であり、当面する課題を一つひとつ解決していかなければならず、「稼ぐ・削る・守る」の3つ

をキーワードに、市政の推進と地域経営に努めていきたいと考えています。「稼ぐこと・削ること」では、企業誘致による税の確保は無論、行財政改革による無駄の排除とコストの削減を図り、生産性を向上させ、厳しい財政の立て直しを急ぎます。また、「守ること」では、あらゆる面での安全安心を高め、子育て支援や教育、福祉全般の充実、公立甲賀病院移転をはじめとする地域医療を前進させてまいります。

私は、二期目の市政に当たり、七つの約束を掲げました。具体的には、今からできるものはすぐに取り掛かり、新たな事業として取り組むものは来年度から順次予算化していきますが、基本は市民皆さんと共感し合える施策であり、多くのご提言やご意見を反映させていくため、これまで同様に現場第一主義に徹していく考えです。機会を通じてお気軽に声をかけていただき、共に元気で明るい甲賀市を築き上げていきたいと思います。